

## 各学部・学科における人材養成等の目的

学 部	学 科	目 的
文学部		豊かな教育内容と多様性をもつ学部として、教養と人間性の涵養、言語能力の養成を基礎に情報化社会・国際社会において、自己の才能を生かし、社会人として協調しつつ創造的に活動できる能力を育成する。
	日本語日本文学科	古典・近現代文学・日本語学・日本語教育学等のバランスの取れた教育・研究を通して、社会での活動の基盤である日本語の理解力・表現力を鍛えることを目標とする。
	英語英米文学科	実践的語学教育と並行して英語学及び英米の文化・文学の教育を行ない、英語圏文化の深い理解に裏打ちされた英語運用能力をもつ人材を養成し社会的要請に応える。
	社会学科	情報化、国際化の進展によって急速に変化し、多様性や不確実性が高まっている社会の中で必要とされる「みずから調査・分析・表現・発信する実証的・実践的な態度と能力」を涵養する。
	人間科学科	イメージ、言語、身体のコセプトを柱として、環境・芸術・思想・言語・神話の理論を通じた人間表現及び心理臨床領域の理論と実習を学び、理論と実践を統合した幅広い人間を育成することを目指す。
	歴史文化学科	人類がこれまで蓄積してきた有形・無形の文化遺産及び歴史の中における生活の場としての環境と人類との交流について歴史学、地理学・民俗学の分野から探求し、これら各分野を横断する総合的立場から教育を行う。
理工学部		自然科学の学問的土台を強固にし、純粋理学と応用科学を融合させて、時代の変化や科学・技術の新たな展開に対応して創造性を発揮できる人材の育成を目指す。
	物理学科	社会の持続的発展を支える科学技術基盤である物理学において、応用分野を視野に入れた基礎教育の徹底をはかり、新たに発生する問題の解決に果敢に挑み、国際社会に貢献できる人材の育成を目指す。
	生物学科	今日の人類が直面する諸問題の解決に貢献できる生物学の専門的知識と技術を身につけ、国際的な視野をもち、多様な分野でそれらを発揮し、次世代を担う豊かな教養と行動力のある人材の育成を目指す。
	機能分子化学科	現代社会の要請に応えることができる、科学と技術の調和のとれた化学の専門知識と、自然科学に対する柔軟な思考力を身につけた人材の育成を目指す。
経済学部	経済学科	学生の一人ひとりを見守り、その成長の手がかりを提供することによって、経済・社会問題を的確に捉え、筋道を立てて考えて、自らの力で解決策を示すことのできる知性と創造力を備えた人物の育成を目指す。
法学部	法学科	学生の個性尊重を旨として、法学及び政治学の基礎・基本教育に努め、学生の自立精神を涵養し、柔軟で創造性にあふれ、社会において競争力のある人材を育成することを目標とする。
経営学部	経営学科	ビジネス社会や組織のあり方に関して深い理解力を涵養するのみならず、論理的に考える能力や倫理的に行動する精神を培うことを目的とする。
知能情報学部	知能情報学科	柔軟な発想力と問題解決能力によって高度国際情報社会でリーダーシップをとれるよう、人間力をベースに情報科学分野において基礎学力、発展力、実践力をもち、創造性に富んだ人材の育成を目指す。
マネジメント創造学部	マネジメント創造学科	自ら学ぶ力を涵養し、営利、非営利、パブリックなどいずれの分野にあっても、社会的責任を創造的に果たしていくマネジメント能力を開発し、世界に貢献しうる人物育成を目指す。
フロンティアサイエンス学部	生命化学科	先端科学技術に関する知識と技能を授けるとともに探究心と発想力を涵養し、社会の発展、福祉の増進のためとくに生命化学分野におけるフロンティア開発に資する能力を養う。

## 各研究科・専攻における人材養成等の目的

研究科	専攻	目的
人文科学研究科		社会人として必要な教養、人間性を身につけた学生で、より深い教養を望む学生に対して、各専攻においてその機会を提供すると同時に、専門職資格の取得と、自立した研究者の養成を目的とする。
	修士課程 博士後期課程	日本語学、日本古典文学、日本近現代文学の三つの研究領域を擁し、包括的な理論と精密な文献・資料の分析に基づく研究によつて、強靱な知力と総合的な思考力の涵養を目指している。
	英語英米文学専攻	英語学、イギリス文学・文化、アメリカ文学・文化という研究領域があり、英語に対する高度かつ包括的な理解に裏打ちされた教養人を育成すべく、各領域独特のアプローチを基盤に、広く英語による思考や発想を鍛え、英語並びに英語で表現された世界を総合的に研究していくことを目標としている。
	応用社会学専攻	社会学、文化人類学・表象文化論、思想史、歴史学、地理学・民俗学という多岐にわたる研究領域を擁し、多様な方法論を用いて対象にアプローチすることによつて、人類の社会的・文化的活動を総合的に研究することを目標とする。
	人間科学専攻	哲学・芸術学・環境学等の人文科学と臨床心理学の担当教員が密接に協力し、専門研究者はもとより、教員、臨床心理士、博物館学芸員、ビオトープ管理士等、現代社会の複雑な問題に対応できる高度な知識を備えた社会人を養成する。
自然科学研究科	修士課程	自然科学分野の広い学識を教授するとともに、専攻分野における専門的知識と研究及び応用の能力を培い、自然科学に関係する専門的な業務に従事するために必要な能力を養うことを目的とする。
	物理学専攻	物理学の基礎分野から応用分野までの広い基礎学力と高度な専門的学問を修得し、柔軟な応用力と個性豊かな創造性を発揮して社会に貢献し、世界に通用する学識と能力をもつ人材を育成することを目指す。
	化学専攻	現代社会の要請に応えて、化学分野における専門的知識と技術を身につけた高度専門職業人の育成、並びに化学の発展に寄与する研究者の養成を目指す。
	生物学専攻	現代社会の要請に応える人材の育成を使命とし、生物学、生命科学における基礎学力の充実と高度な専門性、バイオテクノロジーに関する知識、技術とその応用性の修得を目指す。
	情報システム工学専攻	情報システム工学の基礎分野から応用分野までの広い基礎学力と高度な専門的学問を修得し、柔軟な応用力と個性豊かな創造性を発揮して社会に貢献し、問題解決に必要な知識、技術を有する人材育成を目指す。
	博士後期課程	専攻分野について自立して独創的研究を行うに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養い、自然科学に関係する高度に専門的な業務に従事するために必要な能力を養うことを目的とする。
	物理学専攻	物理学の各専門分野で自立して独創的研究ができる高度な専門的学問と豊かな学識を修得し、先端科学技術に関連する専門的な業務に従事できる卓越した能力をもち、国際的に活躍できる人材を育成することを目指す。
	生命・機能化学専攻	専門諸分野の理論や技術の細分化、複合、境界領域の開拓及び総合化などの学問の変革に対応し、化学と生物学の有機的複合領域の分野を開拓・深化し、高い学識及び技術を有する人材の育成を目指す。
	情報システム工学専攻	情報システム工学分野の理論や技術の細分化、複合、境界領域の開拓及び複合化などの変革に対応し、新しい研究分野を開拓・深化し問題発掘・解決能力を身につけ、高度な学識及び技術を有する人材育成を目指す。

社会科学 研究科	学部で専攻した学問領域を踏まえ、広い視野に立ちながらより深い知識の涵養を望む学生に対して、研究の機会を提供すると共に、専門職資格の取得と、自立した研究者の養成を目標とする。		
	修士課程	経済学 専攻	多様化する社会の高度な教育ニーズに対応するために、学部で専攻した学問領域を踏まえ、広く経済的視野に立ちながら同時に高度な専門性を必要とする職業に就く人材を育成することを目標とする。
		経営学 専攻	経営学の体系に基づいた高度な専門知識の修得、社会変化に対応した新しい情報の探索能力、及び産業や企業組織が直面する諸問題の考察・分析能力と理論的・実践的な問題解決能力を有した人材を養成する。
博士後期課程	経営学 専攻	より高度で複雑な経営現象に関わる問題や社会変化に対応するための最先端の経営理論・経営実践を自立独創的に考案・革新する能力を有した人材の育成を行う。	
フロンティア サイエンス 研究科	修士課程	生命化学専攻	生命化学分野における先端科学及びその周辺領域に関する専門的な知識と技能を教授することにより、先進の科学技術を自在に扱うことのできる自立した研究者や、産業界でリーダーとなる人材を養成することを目的とする。
	博士後期課程	生命化学専攻	生命化学分野における深い専門知識と、その周辺領域に関する知識と技能をバランス良く修得させることにより、自らが最先端科学技術を創出し、科学の新たな分野を開拓できる先導的研究者を養成することを目的とする。

## 専門職大学院における目的

研究科	専攻	目的	
専門職大学院		専門職学位課程は、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことを目的とする。	
	法学研究科 (法科大学院)	法務専攻	法科大学院の課程は、専ら法曹養成のための高度の専門性をもつ深い学識及び卓越した能力を培う教育を行うことを目的とする。
	ビジネス研究科 (会計大学院)	会計専攻	会計大学院は、甲南学園の建学理念である「人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の特性を啓発する人物教育の率先」、「世界に通用する紳士・淑女たれ」をもとに、会計専門職養成のための高度の専門性をもつ深い学識及び、卓越した能力を培う教育を行うことを使命・目的とする。かかる使命・目的を実現するため、会計大学院の教育目標は、甲南大学の伝統と実績を基盤に、高い倫理観を持ち、国際感覚とIT能力を備えた会計専門職を養成することにある。